

Isehara

2023 年度

# 事業報告書

学校法人信愛学園

認定こども園 伊勢原幼稚園

# はじめに

学校法人信愛学園  
理事長 吉武誠一  
認定こども園伊勢原幼稚園  
園長 田口美穂

## 保育の実践

伊勢原幼稚園は保育の基本方針に、「キリスト教の愛の精神による実践」を掲げて、この年度も歩んでまいりました。園長、副園長はじめ職員全員がこの基本方針に沿って、日頃の保育の充実に努め、職員間の密接な交流や協議による連携をとることを心がけてきました。子どもたちは会堂礼拝、クラスの礼拝により神様のみ心を示されて、祈り、賛美し、イエス様のお話を聴き、祝福を受けながら歩みました。これらが人生の土台となることを心より願っています。

これまでと同様、園長および副園長を中心に、本園の教育と保育についての現状と課題点について日頃より検討が行われ、理事会においても役員全員でそれらを共有することができました。

保育現場では本園が提供する保育の将来像について、特に、「インクルーシブ保育」や「外国につながる園児・保護者への対応」を新たな課題として、地域に仕える本園の在り方の学びを始めました。

子どもたちの安全や危機管理、保育環境の整備への対応について、「園児置き去り防止装置」の装備と「出欠席管理受付システム」の導入、子ども用ロッカーの買い換えを行いました。園庭については担当職員による手入れが継続して行われ、良好な環境を提供することができています。また、園庭のエントランス部分を子どもたちが遊びやすい状況にするための改修工事と芝生張りを年度末に実施することが出来ました。

## 伊勢原教会からの支援

保育の実施にあたり、設立母体である日本キリスト教団伊勢原教会の服部能幸牧師、新井美穂牧師、長老会、教会員、教会学校、ご関係の皆様からはこれまでと同様、心強いお支えをいただきました。

## 感謝

本園の2023年度の歩みを支えてくださった、保護者会の役員と保護者の方々、地域の方々に、理事会と評議員会を代表して、感謝を申し上げます。このたび卒園した22名の子どもたちの成長に神様からの恵がありますよう心より祈ります。そして、これからも伊勢原幼稚園がよって立つキリスト教保育の基本指針を堅持しつつ、この時代とこの地域によって求められる本園の使命を果たしてまいります。事業報告にあたり、今後とも皆さまから一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 法人の概要

法人名称 学校法人 信愛学園  
代表者 理事長 吉武誠一  
住所等 〒259-1131 神奈川県伊勢原市伊勢原 3-10-5  
電話 0463-95-0326 FAX 0463-95-0308  
Home Page URL <https://isehara-youchien.ed.jp>  
設置する学校 伊勢原幼稚園

## 組織

(敬称略)

### 役員

理事 定員 7名

吉武誠一 (理事長)

田口美穂 (園長)

服部能幸 (伊勢原教会の指名)

岩根康雄 (評議員会選任)

濱田 望 (評議員会選任)

福川公大 (学識経験者枠)

坂本真貴子 (学識経験者枠)

監事 定員 2名

小木真理子 堀 光雄

評議員 定員 15名

(職員枠 2名)

倉地利巳子 松岡里佳

(卒園生枠 5名)

立澤 智 三箸宣子 横溝明夫 山本妙子 細屋多一郎

(学識経験者枠 8名)

永野正之 平野理恵子 岩根康雄 林 大介 関 淳一

小西 淳 鈴木大樹 濱田 望

## 顧問

会計士：川合孝一会計事務所 川合孝一公認会計士

税理士：宿谷会計事務所 宿谷忠司税理士、花岡理恵税理士

社労士：社労士法人アークス 佐藤出社会保険労務士

ICT システム：アイティーコモン 鈴木誠氏

# 事業の概要

## 1. 保育方針と取り組み

### 教育方針

キリスト教の愛の精神によって以下のことを目標に保育を実践します。

・幼児は自分が十分愛されていることで、他者の人間性と人格を尊重する豊かな人間に成長します。そのことを願った保育を行ないます。

・知育を先取りする教育ではなく、五感を働かせて、色々なものに興味と好奇心を持ち、感動することこそが脳の知的働きと成長を促すものと考えます。教え込むのではなく、自発的な遊びの中で創造力が育てられ、知的成長とからだの成長が進むものと信じて保育を行ないます。

・「一人ひとりを大切に」、「違いを認める」、「こどもの心により添いつつ」をモットーに保育を行ないます。

2023年度も上記の教育方針を子どもたちとの日々の生活の中で実施していこうと教職員が力を合わせて歩んできました。この歩みの中心は、日ごとのクラス礼拝と週一回の会堂礼拝です。子どもたちとともに讃美歌を歌い、祈り、イエスさまのお話をくりかえし聞きながら、子どもたちの中にイエスさまが生き生きと描き出され、動き始めることを願いました。

### 定員・学級・園児数

利用定員：60人（1号認定50人、2号認定10人）

1号認定内訳：年長19人 年中19人 年少12人（満3歳児を含む）

2号認定内訳：年長 4人 年中 4人 年少 2人

2023年度園児数(2024/3/1現在) ( )内は2022年度

クラス	男	女	計	1号	2号	計
年長（ひまわり）	8	13	21 (18)	18	4	22
年中（あさがお）	9	8	17 (19)	12	5	17
年少（ちゅーりっぷ）	8	7	15 (14)	14	4	18
合計	25	28	53 (51)	44	13	57

2023年度園児数（1号認定、2号認定）の月次推移

	2023.4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1号認定	41	41	40	39	39	40	39	40	41	42	44	44
2号認定	9	11	12	13	13	13	13	12	11	13	13	13
合計	50	52	52	52	52	53	52	52	52	55	57	57

## 教育・支援体制

(敬称略)

園長 田口美穂 キリスト教教育主事 服部能幸  
副園長 坂本眞貴子 キリスト教教育副主事 新井美穂

### ○教育部門

主幹 倉地利巳子

教諭 1くみ 担任 大島典子 岩本遥香

2くみ 担任 鴻巣 麗

3くみ 担任 倉地利巳子(兼) 吉村真由子

クラス補助教諭 提島美紀 大河原知美 高須知子 江崎華奈

未就園児(つくしさん、ちいさいつくしさん りんごさん)

担任 塚原 萌 補助教諭 平出真理

### ○保育部門

主幹 松岡里佳(行政対応担当兼務)

おひさまクラス 担任 青木洋美

保育(預かり) 大屋知恵子 来島智恵子(園庭整備担当兼務)

### ○庶務部門

事務 岡本牧葉(ICT化担当兼務)

早番 竹本久美子

園バス 竹内美那 鈴木純子(2023/8/31まで) 来島愛衣(2023/9/1から)

### ○講師

わらべうた 二階堂恵子

栄養相談 五十嵐恵理子

### ○カウンセラー

北村由美

### ○医師・歯科医師・薬剤師・栄養士

内科医 大跡典子

歯科医 新倉良一

薬剤師 稲葉理恵

栄養士 五十嵐恵理子

### ○教職員の異動

<就職> (2023年4月 1日) 岩本遥香、吉村真由子

(2023年9月 1日) 来島愛衣

<退職> (2023年8月31日) 鈴木純子

(2024年3月31日) 岡本牧葉、来島愛衣

## 保育への取り組み

2023年度主題 「ともにつむぎだす ～希望の中で～」

年主題聖句 「キリストはおいでになり、  
遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、  
平和の福音を告げ知らせられました。」  
(エフェソの信徒への手紙2章17節)

- ・年主題、主題聖句、年・月聖句等はキリスト教保育連盟の定めに準拠している。
- ・毎朝のクラス礼拝 クラス担任による聖書のお話、絵本、紙芝居などを通してイエス様を聴きます。
- ・会堂礼拝 服部能幸キリスト教教育主事と新井美穂キリスト教教育副主事を中心に、時々、園長、副園長、主幹もお話を担当しました。  
ただ、お誕生日会を含む礼拝の日は保護者の方がご出席いただける礼拝の日なので、牧師お二人にお話しいただいております。

### 保育時間

1号認定児	月曜日～金曜日	9:00～14:00
2号認定児	月曜日～金曜日	7:30～18:30 (保育標準時間)
	月曜日～金曜日	9:00～17:00 (保育短時間)

## 2023年度の保育を振り返って

園長 田口美穂

はじめに 2023年度の半ば、コロナ感染症の取扱いが5類へと移行したため、それまでの多くの防御しなければならないことがとかれ、マスクも各家庭の判断にゆだねられるという具合に日々を過ごすことになり、その意味、ほっとしていました。しかし、時おり、あちらこちらからコロナ陽性の報が聞こえると、注意を怠ってはいけません！とのわが身を戒める時となっていました。

### 1. 二年目に入った縦割り保育について

不安気味であった保育者たちでしたが、3、4、5歳という年齢の発達をより明確に捉えることができることに気がついた保育者たちは、喜びを感じ、保育を楽しんでいくことになりました。

一年目の二人の保育者もベテランの保育者と副担任として組むことを通して、5月末頃から自分で動き出せるほどになっていました。ベテランに育てられた新人は、2024年度は担任をまかされたり、ベテランと組んだとしても、同等の担任として在ることを十分に伝えて歩み出してもらうことになりました。

「横割り」(年齢別)で活動する時も必要に応じて作っていきました。まず、ひまわり(年長)さんのお泊り保育を控えてのときからでした。しかし、大方は3、4、5歳が共に暮らし、その中で子どもたちのあり方を子どもたち自身で生み出していきました。ひまわりさんの心づかいは保育者たちにもよい刺激にもなっていました。

### 2. “伊勢原幼稚園らしさ”について

このことは保護者の皆様から知らされたのですが、運動会、卒業式のあり方について、“らしさ”が出てきたこと、そして、それが個人にとってもクラスにとってもよいことだ...、と述べてくださる方々に私たちは大いに励まされています。

教育界全体でインクルーシブが語られる今、このことを共に大切にしていけるようにと願っています。

### 3. お料理が皆でできるようになったこと

コロナ禍のため、実施できなかった全員参加での料理の時間が5月から始められました。保護者の皆様のお支えを得て、筍のごはんや焼きそば、汁ものなど、子どもたち全員の手

で作りあげられたものを、皆でいただき満腹したことは、大きな喜びでした。

#### 4. 園庭整備について

いつも畑には子どもたちが種をまいて育てたものなど、その成長を皆で見守ることのできた一年でした。お花も枯れたものをとりのぞき、新しいものと、いつも心を配ってくださった担当の先生に感謝です。

以前から話されていた園入口一面にあったブロックがとりのぞかれ、芝生が植えられました。使用可となったとき、ボール遊びが、大なわとびが、いつでもできるようになります。そうなったときの子どもたちの動きが楽しみです。

### 2号認定保育・預かり保育(1号認定) (おひさまクラス) の歩み

保育主幹 松岡里佳

- 4月 2号認定児年長3名、年中3名、年少3名の計9名でスタート。  
新2号\*認定児年長1名、年中1名と1号認定児一時預かり利用者も共に過ごした。(※新2号は預かり保育の無償化対象となります。)  
14時教育時間終了後、2階たんぼの部屋へ移動し午睡準備。  
年中長児15時20分、年少児15時40分起床。年中児は移行期間である為、必要に応じて、午睡時間を年少児の時間まで延長した。  
起床後おやつ。重めのものを用意。  
今年度は、16時～16時半の早いお迎えの園児が多く、降園まであまり時間がなかった為、おやつ後は室内遊び(ホールも使用)とした。  
18時過ぎまで残る園児は、17時40分頃軽めのおやつ。  
新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いてきた為、おやつや昼食時のパーティーは使用終了としたが、午睡時の布団を離したり顔の位置が逆になるような配慮、消毒・検温は継続して過ごした。
- 5月 1号認定児より、年長1名と年中1名が2号認定へ
- 6月 1号認定児より、年少1名が2号認定へ
- 7月 1号認定児より、年中1名が2号認定へ 2号認定は年長4名、年中5名、年少4名の計13名となる。
- 7月～8月 教育時間の夏休みに入る。  
近年の暑さで外遊びやプール遊びが難しくなっている為、日陰になる2階テラスで水遊びが出来るように用意。ホールでは、室内用砂遊びセットを広げ、砂遊びも行った。カレーやクッキー作りをしたり、品物を作り溜め、8月後半には、お店屋さんごっこも行うなどして過ごした。
- 8月 出産の要件で新2号認定児年中1名増(8月～11月末まで)
- 11月 2号認定児年少1名1号認定へ  
運動会・芋ほり遠足を終え、落ち着いた時点で年長児の午睡をなくした。  
午睡中は、今年度も人数が少なかった為、ぶどうの部屋にて過ごした。様々なテーマを決めて語り合ったり、本の読み聞かせや、色や順番を把握するような遊びを行ったが、いずれもよい時間となった。またその後に、皆でカードゲームやボードゲームをしたり、自由遊びの時間もとることが出来た。
- 12月 2号認定児年長1名退園へ
- 12月～1月 教育時間の冬休みに入る。  
園外保育に出掛けたり、制作等を行った。
- 1月 2号認定児年長1名、年少1名途中入園
- 2月 1号認定児より、年長1名が新2号認定へ  
出産の要件で年中1名も新2号認定へ(2月～6月末まで)
- 3月 1号認定児より、年少1名が2号認定へ  
教育時間の春休みに入る。

年中少児が午睡中の時間を利用し、年長児がお店屋さんごっこを企画準備。最終日間際に実施、また同日の午後にはお別れ会も行い、思い出に残る良き時間を共に過ごした。

今年度は、1号認定児の利用も多かった上に、2号認定児の出入りも多く、家庭的に問題を抱えている2号認定児達は、心が落ち着かない様子であった。

## 行事の実施状況

### 毎月の行事

誕生日会と会堂礼拝	月1回	水曜日	ホールにて
会堂礼拝	月2 or 3回	水曜日	

### 第1保育期

入園進級のつどい	4月10日	
ふれあい親子デー	6月9日	1組
	6月16日	2組
	6月23日	3組
年長児お泊り保育	7月20・21日	
第1保育期終業日	7月19日	

### 第2保育期

始業日	9月1日	
運動会	10月7日	
クリスマス礼拝・祝会 第2保育期終業日	12月16日	

### 第3保育期

始業日	1月10日	
おたのしみ発表会	2月17日	
第93回卒業式	3月16日	
第3保育期終業日	3月18日	

## 2. 健康管理、カウンセリング、防災・避難訓練

### ① 園児の内科、歯科検診

内科検診 5月29日 大跡典子園医による健診

歯科検診 5月29日 新倉良一園歯科医による健診

視力・聴力検査 視力検査は5月18日、聴力検査は検査項目を家庭に渡して行う。

検尿 ・9月15日/10月4日に実施。町田予防衛生研究所。

発育測定 隔月に行っている。

### ② 薬剤師検査

環境衛生検査 12月19日 稲葉理恵薬剤師による環境衛生検査実施

水質検査 5月9日 水道水の検査実施



職員の検診 4月初旬にJA神奈川県厚生連・厚木健康センターにて実施。

- ③ 保育支援・カウンセリング  
北村由美臨床心理士による子ども・保護者・職員の保育支援、保育相談を実施  
(合計 13 回)  
(内容) クラス見学と職員との勉強会を実施 11 回  
保護者との面談 2 回
- ④ 防災・避難訓練  
・日常の避難訓練 園内、園外、広域避難場所(伊勢原小学校)  
避難訓練実施報告( )内は想定した災害  
4月: 避難訓練(火事)  
5月: 総合避難訓練: 警戒宣言発令想定で保護者引取り訓練(地震)  
6月: 避難訓練(地震)  
9月: 火災訓練 2階からの非常用滑り台利用、(火事)  
園外(武道館)に避難  
11月: 不審者想定訓練(不審者)  
1月: 避難訓練(地震)  
2月: 避難訓練(火災)  
3月: 広域避難場所(伊勢原小学校)への避難訓練(地震)  
いずれの訓練においても実施後に振り返りを行っている。
- ⑤ 事故対応マニュアル  
危機管理の質的向上をはかることを目的として「安全管理マニュアル」が整備されている。園児の安全を第一とし、さまざまな状況に対応できるように職員間での共有を図り、連絡しあっている。ただし、マニュアルの内容と職員共有の方法について見直しの時期にきている。
- ⑥ ヒヤリハット報告  
ヒヤリハット事例について報告し(2023年度は5件)、事故を未然に防ぐための対策を話し合った。

### 3. 保育環境・運営機器等の整備

- 1) 園バス送迎時の置き去り防止装置の装備
- 2) 教育機器関連  
3クラスの園児用ロッカーと保育士用棚の取り換え
- 3) ICT(情報通信技術)システム導入関連事業  
アイティコモン鈴木誠氏によるアドバイスを受けた。  
出欠席・延長保育管理受付システム(IT-service)を導入
- 4) 園庭エントランス部分の改修、芝生張り

### 4. 関連保育、地域開放・交流事業

- (1) 一時預かり保育(おひさまクラスに含まれる)  
1号認定保育時間外や長期休業中に保護者の必要に応じて子どもたちをお預かりする事業で一時預かり事業補助金の対象。  
登園前(7:30~9:00)、降園後(~18:30)の保育を実施した。  
利用者数: 延べ利用人数: 789人
- (2) 特別支援教育  
2023年度は8名の園児が対象
- (3) 入園準備クラス「つくしさん」

2歳児（翌年度伊勢原幼稚園に入園をお考えのお子様を対象）

（火・木）クラス人数 10名

月1回 二階堂恵子先生による親子わらべうたあそび。

収穫感謝礼拝と運動会は在園児と共に参加しました。クリスマス会はつくしさんの活動の中で行いました。第3保育期は例年どおり母子分離をスタートして子どもたちの入園準備を進めました。

(4) 入園準備クラス「ちいさいつくしさん」

毎月 1～2回（月1回 二階堂恵子先生によるわらべうた）

クラス人数 8名

対象 1歳児（つくしさんに入る前の1年間、親子で一緒に遊ぶクラス。）

5月より週1回（水か金曜日）実施

一日の流れ 10：00～11：00 受付、自由遊び、片付け

11：00～11：30 おやつ（アレルギーを配慮）

集まり わらべうた・絵本・誕生日会

年間を通し イースター、感謝祭、クリスマスカード作成

(5) 地域開放推進事業「りんごさん」

月曜日 月2回開催 月1回 わらべうた（二階堂恵子先生）

月1回 あそびのひろば（奇数月は「おはなしバルーン」）

参加者 30名

会費 入会金 200円および保険料 300円 計 500円

対象 赤ちゃんから入園前の幼児（0歳～2歳）

- ・地域との連携を深めて、幼児教育センターの役割を果たす園として補助金を受けています。
- ・子育て相談事業を実施しています。

(6) 広報・ホームページの運用

・ミニコミ誌への広報（タウンニュース等）。

・ホームページ。園の紹介をしている。入園案内と共に「未就園のページ」、「つくしさんにつき」、「おひさまにつき」等も公開している。

URL <https://isehara-youchien.ed.jp/>（信愛学園伊勢原幼稚園で検索）

・Instagramによる情報発信

園庭の花、畑の様子、園での園芸活動の様子を紹介しています。

担当：来島智恵子

(7) 職員の研修・研究活動・その他

○園内職員研修

日時：2024年4月6日（土）10：00～12：00

年度末の予定を変更して年度を新たに開催した。

参加職員：（常勤、非常勤合わせて）13人（6人欠席）

講師：深井智明先生（日本キリスト教団愛泉教会牧師）

講演：「神の子の尊厳に仕える保育」

講演では、「神の子の尊厳に仕える保育」とは「神から預かった命に仕える保育」とも言われました。園において、子ども・親・同僚に仕えることを語られました。

- ①子どもの尊厳に仕える者として  
子どもの今・ここに、を起点として関わること
- ②親の尊厳に仕える者として  
それは共に生きること、共感することで  
相手の測りで考える者であること
- ③同僚の尊厳に仕えること

それは、お互いの賜物を認め合うこと、  
そして、最後に、さあ、私たちの保育を始めよう！と押し出してくださいました。  
3月31日がイースターであったため、当初予定の3月30日に開催では講師の先生  
に申し訳ないと、一週間遅れとなった研修会でしたが、よい出発点に立たせていた  
だけたことを感謝しつつ、私たち一人ひとりをも、神の子としてくださっている方  
を共に見つめつつ、歩調を合わせながら無理なく歩いていくことができますように  
と祈りつつおります。

- 園外研修（23件 延べ人数49名 常勤職員一人が平均約5件の研修に参加）
- ・キリスト教保育連盟「第94回夏期講習会」（7月27日リモート講演 12名）
  - ・全日本私立幼稚園幼児教育研究機構「第2期/バス運行の安全確保について」（7月31日リモート講演 1名）
  - ・相模原市幼稚園認定こども園協会「短時間・パート勤務者向け一集団で育てる特別ではない特別支援」（7月31日リモート講演 1名）
  - ・全日本私立幼稚園幼児教育研究機構「子どもが安全にすくすく育つ園づくり」（8月1日リモート講演 1名）
  - ・全日本私立幼稚園幼児教育研究機構「幼少期における音楽教育のあり方」（8月3日リモート講演 1名）
  - ・神奈川県私立幼稚園連合会研修事業部「基礎講話：集団で育てる特別でない特別支援 第1回」（8月2日リモート講演 5名）
  - ・神奈川県私立幼稚園連合会研修事業部「第2回脳機能の視点による理にかなった支援①」（8月3日リモート講演 4名）
  - ・神奈川県私立幼稚園連合会研修事業部「第3回脳機能の視点による理にかなった支援②」（8月9日リモート講演 4名）
  - ・神奈川県私立幼稚園連合会研修事業部「第4回脳機能の視点による理にかなった支援③」（8月10日リモート講演 4名）
  - ・神奈川県私立幼稚園連合会研修事業部「第5回脳機能の視点をふまえた気になる子を含むクラスづくり」（8月10日リモート講演 4名）
  - ・神奈川県私立幼稚園連合会研修事業部「第6回実行性の高い個別指導・計画の立案」（8月24日リモート講演 4名）
  - ・子どもの遊びと手の労働研究会 第49回研究会（8月6日 リモート講演 1名）
  - ・キリスト教保育連盟神奈川部会「夏期講習会」（8月22日関東学院関内キャンパス 4名）
  - ・一般社団法人保育 ICTadvance 保育等キャリアアップ研修 eラーニングサイト 保護者支援・子育て支援（8月7日～22日リモート講演 1名）
  - ・伊勢原私立幼稚園協会「教職員研修大会」（8月23日伊勢原市市民文化会館 3名）
  - ・湘北地区私立幼稚園協会 「第44回湘央地区幼稚園大会」（9月9日平塚市中央公民館ホール 1名）
  - ・全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 R5年度第II期「ゆたかなまナビ」4. インクルーシブ教育を考える（9月16日 1名）
  - ・神奈川 LD 協会 「夏のセミナー発達障害って何ですか？ 特別支援って必要ですか？」（8月8日リモート講演 1名）
  - ・伊勢原私立幼稚園協会研修会（12月6日 伊勢原南公民館 2名）
  - ・（公財）かながわ国際交流財団 多文化共生グループ「多文化対応力向上講座 外国につながる園児との関わりについて」（2月1日 モート講演 2名）
  - ・全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 「事務職員向け研修」（2月13日リモート講演 1名）

- ・全日本私立幼稚園幼児教育研究機構「第1期5. 職員による子どもの虐待を予防するために不適切な教育保育を予防するために」(2月23日リモート講演 1名)
- ・全日本私立幼稚園幼児教育研究機構「子どもが安全にすくすく育つ園づくり」(2月24日リモート講演 1名)

#### (7) 保護者の会との連携

- ・2023年度保護者の会役員(敬称略)  
 <会長>加藤実里、 <副会長>青木久美、 <会計>佐治めぐみ、  
 <書記>上地由加奈、澤田ゆかり(第2保育期のみ)  
 <会計監査> 佐藤才佳、鈴木一代
- ・諸係:園の行事等と共に諸係りが決められ協力があった。
- ・卒園記念品として園児(ひまわりさん)に「新約聖書」(聖書協会共同訳)が、伊勢原教会からは「こどもさんびか」が贈られた。
- ・「教育講演会」  
 講師:元開富士雄先生  
 講演:「口から考える子育てと保育-自立、運動、感覚、情緒の視点から-」  
 日時:9月29日(金)  
 出席者:25名

## 5. 保護者による評価と職員による自己評価

### (1) 保護者による評価

- ・教育と運営に関するアンケート  
 2024年1月実施  
 回収率 70.8%  
 回答結果については、本園ホームページに一般公開している。

### (2) 職員による自己評価

- 2024年1月実施  
 6分類にわたる計18項目の自己評価を行った。  
 保護者によるアンケートと合わせて分析し今後の保育と運営の参考とした。  
 いずれも「2023年度学校評価」として別冊子としてまとめている。

## 6. 理事会・評議員会

### ○理事会 7回開催(他に、役員懇談会1回開催)

- 第1回(5/27) 評議員会への諮問(事業報告および決算)について
- 第2回(5/27) 2022年度事業報告の承認に関する件  
 2022年度決算の承認に関する件  
 2022年度監査報告に関する件  
 次期理事長選任、空調設備更新、園庭エントランス改修計画の承認
- 第3回(9/16) 田口美穂園長との委任契約更新に関する件  
 2024年度の教育体制に関する件  
 2024年度の入園募集に関する件  
 医療的ケア児受け入れに関する件  
 (協議事項)園舎施設整備に関する件
- 第4回(11/25) 2024年度の教育・運営体制に関する件  
 園庭入口部分の工事について  
 (協議事項)園舎施設整備に関する件
- 第5回(3/25) 2024年度の教育及び運営体制に関する件  
 2024年度の雇用契約並びに賃金等に関する件

- 2024年度の学事日程に関する件
- 2023年度中間決算に関する件
- 2023年度の処遇改善実施に関する件
- 園舎施設整備に関する件
- 2024年度予算案策定に関する件
- 役員懇談会(3/23) 私立学校法改正に伴う寄附行為改定に関する協議
- 第6回(3/23) 2023年度第1回補正予算案に関する件  
評議員会への諮問(事業計画および予算)について
- 第7回(3/23) 2024年度事業計画に関する件  
2024年度予算に関する件  
私立学校法改正に伴う寄附行為改定に関する協議

○評議員会 2回

- 第1回(5/27) 2022年度事業報告に関する件  
2022年度決算に関する件  
次期評議員の選任、次期理事(評議員枠)の選任、次期監事の選任
- 第2回(3/23) 2024年度事業計画に関する件  
2024年度予算に関する件  
(協議事項) 私立学校法改正に伴う寄付行為の改定に関する件

## 7. 実施した事業の評価と改善点について

2023年度に計画した事項(「2023年度事業計画書」3ページに記載)の評価と今後の改善点については以下のとおり。

- 地域に仕える伊勢原幼稚園の教育と保育を支える。  
田口園長と坂本副園長を中心に、本園の教育と保育についての現状と課題点について丁寧な報告が行われ、理事会においても役員全員でそれらを共有することができた。2023年度理事会では、園長及び副園長から本園の教育部門と保育部門のより密接な連携が必要であることが提案された。その結果、両部門の主幹を交代する体制を2024年度に実現することを決定した。
- 伊勢原幼稚園の提供する保育の将来計画を検討する。  
本園が提供する保育の将来像について、特に、「インクルーシブ保育」に関する調査や協議が行われた。また、本園においても「外国につながる園児・保護者への対応」が求められていることから、今後に向けて引き続き園の受け入れ態勢を整え、保育者がスキルを身につけることが課題であることを確認した。
- 園児の安全や危機管理や保育環境の整備への対応力を高める。  
園バスの買い替えを機に、「園児置き去り防止装置」を装備した。(県補助金制度利用)  
園バス送迎安全マニュアルの見直しを行った。なお、危機管理マニュアルの見直しについて検討をおこなった。これらは2024年度も継続課題である。  
園庭については担当職員による手入れが継続して行われ、良好な環境を提供することができている。一方、保育者より園庭のエントランスにおいて改修が必要との指摘を受けて、改修工事を2024年3月末より実施した。  
子ども用ロッカーと保育者用ロッカーの買い換えを行った。  
現園舎において職員の職場環境改善のため、さらに管理・運営上からもスペースが必要であることから理事会で協議を重ね、2024年度内に園舎ベランダ部分を多目的スペースとして整えることを決定した。
- 保育者の労働環境を整え、処遇改善と働き方に配慮する。  
本園職員の給与規程の改定を行った。  
職務手当(主幹手当、担任手当、行政担当手当等)の増額を行った。

- 特別休暇制度（コロナ対応、インフルエンザ対応）の見直しと導入を行った。
- 保育や運営における ICT（情報通信技術）化を進める。  
ICT 化については顧問契約している専門家からアドバイスを受けつつ、保育における ICT システムの利用について検討した。  
「出欠席・延長保育管理受付システム（アイティサービスシステム）」を導入した。  
(2023/10 より)

## 財務の概要

2023年度財務計算に関する書類:資金収支計算書、人件費支出内訳表、事業活動収支計算書、貸借対照表、固定資産明細表、借入金明細書、基本金明細書

[資金収支]<学校法人における当該年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容、並びに当該年度における、すべての現金・預金の収入・支出のてん末を示す。>

### ① 次年度繰越支払資金について

資金収支	(単位 円)	
前年度繰越支払資金(期首残高)	59,623,507	・・・A
当年度資金収入	117,611,898	・・・B
総資金収入	177,235,405	・・・A+B
当年度資金支出	101,279,113	・・・C
次年度繰越支払資金	75,956,292	・・・A+B-C

上表のとおり 2024 年度への繰越支払資金は前年度繰越支払資金より 16,332,785 円増。

- ② 施設型給付費と県市からの補助金収入計に未収入金における補助金を加算した総額は 110,723,043 円で前年度補助金総額 97,809,486 円より 12,913,557 円増となった。2号認定園児数の増加が主な理由。
- ③ 人件費総額は 2022 年度より 7,609,712 円増の 67,282,734 円。(約 12.7%増) 職員増と手当増が主な理由。

### [事業活動収支]

事業活動収支	(単位 円)	
当年度教育活動収入	105,131,222	・・・A
当年度教育活動支出	94,372,797	・・・B
当年度教育活動収支差額	10,758,425	・・・(A-B)

<事業活動収入は、学生生徒等納付金、補助金その他の負債とならない収入、事業活動支出は、人件費、教育研究経費、減価償却額、管理経費等の学校法人の経常的支出>

[貸借対照表]

資産の部 総額 156,558,714 円

資産の部	2023 年度末	2022 年度末
固定資産	68,042,955	70,610,423
内訳		
有形固定資産	47,829,095	50,396,563
特定資産(減価償却引当)	20,000,000	20,000,000
その他	213,860	213,860
流動資産	88,515,759	73,869,316
内訳		
現金預金	75,956,292	59,623,507
未収入金	11,925,901	13,679,549
貯蔵品他計	154,436	81,160
合計	156,558,714	144,479,739

負債の部 総額 2,780,748 円

負債の部	2023 年度末	2022 年度末
固定負債(長期未払金)	0	0
流動負債(未払金・預り金)	4,160,832	2,780,748
負債の部合計	4,160,832	2,780,748

純資産の部

純資産の部	2023 年度末	2022 年度末
基本金(第1号)(*1)	160,713,380	159,077,571
繰越収支差額(*2)	△8,315,498	△17,378,580
純資産の部合計	152,397,882	141,698,991

\*1 基本金：法人維持のために必要不可欠な資産額

\*2 繰越収支差額：翌年度繰越収支差額

- ① 固定資産は前年度より 2,567,468 減の 68,042,955 円となった。  
 ② 基本金(第1号)は 1,635,809 円組み入れにより 160,713,380 円となった。

以上  
2024/5/25 版